

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

藤川地区

平成26年7月

愛知県岡崎市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	市民活動施設利用者数	人/年度	7,307	52,617	89,170	確定 見込み	○ ●	あり なし	95,900	H26年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	整備した東部地域交流センターには、市民活動の場となる各種活動室等を設置しており、市民活動の場が創出できたことにより、活動の機会が増加し施設利用者数も増加したと考える。東部地域交流センター周辺の交通環境についても、市道藤川沖田4号線の整備や市道藤川田中線改良工事など、安全なアクセス路の確保により利便性が向上したことも施設利用者数が増加した一因と考える。
指標2	藤川宿資料館入館者数	人/年度	1,328	1,433	1,300	確定 見込み	△ ●	あり なし	1,123	H26年5月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	藤川宿の魅力向上に向け、地域振興施設(道の駅「藤川宿」内)の整備や情報案内板等による観光情報発信・情報提供を実施したほか、旧野村家住宅(米屋)における小箱ショップのような活用等によって藤川宿の新たな魅力が創出されたことにより、藤川宿資料館の入館者数に一定の改善傾向が見られているが、目標の達成には至っていない状況である。
指標3	防災訓練・講習等参加者数	人/年度	825	1,137	1,263	確定 見込み	○ ●	あり なし	1,329	H26年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東部地区の防災機能の向上を図るため、東部地域交流センターに防災備蓄倉庫や防災活動室等を設置したほか、その施設を防災展示や防災訓練等の準備や会議の場として活用したことにより、藤川地区全体として防災意識が向上し、防災訓練・講習等の参加者数が増加したと考える。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	藤川まちづくり協議会の会員数	人・社	34	/	82	確定 見込み	● ●	/	96	H26年5月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東部地域交流センターに市民が活用できる活動室や様々な情報の提供スペースが整備されたことに加え、まち歩きイベントや市民ワークショップの開催により地区全体でのまちづくり活動への関心が向上し、藤川まちづくり協議会の会員数が増加したと考える。
その他の数値指標2	交流・休憩施設立地件数	件	1	/	5	確定 見込み	● ●	/	6	H26年5月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東部地域交流センターや道の駅「藤川宿」の整備により人が集まり、藤川地区ににぎわいが創出された。小箱ショップのような新たな取組を行っている旧野村家住宅(米屋)やむらさき麦の石臼挽きや麦茶作りなどが体験できる施設が開設されたほか、来訪者が集える新たな店舗が立地された。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	交流促進に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・東部地域交流センターを利用している団体の活動の成果発表と市民との交流の場を提供する「むらさきかんフェスタ」を実施した。 ・情報誌「むらさきかん」において地域活動を紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流機会の充実が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる交流の促進を目指し、整備した東部地域交流センターを活用した地域住民主体の地域活動を継続的に促進する。
	地域の観光資源を活用したまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・景観重要建造物の指定を受けた旧野村家住宅(米屋)の外観保全のための費用を補助した。 ・文化遺産を活かした観光振興・地域活性化について学ぶ講座「藤川塾」の運営を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の継続的なまちづくり活動が定着化しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧野村家住宅(米屋)については、今後も藤川まちづくり協議会を始めとする地域主体の活動で施設(小箱ショップ等)が有効活用できるような制度の構築を検討していく。また、残された他の歴史的建造物についても、建替え・修繕の際には、魅力ある藤川宿のまちなみ景観に配慮するよう誘導する。
	防災活動等による自主防災意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した東部地域交流センターや隣接する道の駅「藤川宿」は岡崎市地域防災計画により防災拠点施設に指定された。これら新設した防災拠点施設や藤川小学校などの既存施設を活用した防災訓練等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が災害時に自主的かつ迅速に動くことができるような防災意識の醸成が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が自主的な防災意識を高めることができるよう新設した防災拠点施設や藤川小学校などの既存施設を活用した防災訓練等を継続的に実施していくよう誘導する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	周辺施設との連携や施設自体でのにぎわい創出	<ul style="list-style-type: none"> ・藤川まちづくり協議会とともに「むらさきまつり」を本陣跡広場、道の駅「藤川宿」などで実施した。 ・道の駅「藤川宿」主催による「歴史探訪藤川宿ガイドツアー(藤川まちづくり協議会の会員とともに藤川宿を散策)」を実施した。 ・市ホームページにより藤川宿資料館をPRした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設との連携や施設自体でのにぎわい創出が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も藤川宿のにぎわい創出については、イベント等を継続しつつ、道の駅「藤川宿」における情報提供の充実や増加している交流・休憩施設と相互のPRについて連携を図る。また、藤川宿の代表的な施設である藤川宿資料館については、展示資料の入れ替えなどにより、施設自体の魅力向上を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項